

椅子の S M L 展

椅子も服と同じようにフィット感で選ぼう

会期：2025年1月24日(Fri) 2月25日(Tue)

小柄な人が座っても、かかたが浮かない。
背の高い人も、ゆったりとくつろげる。
低座のダイニングをセレクトしました。

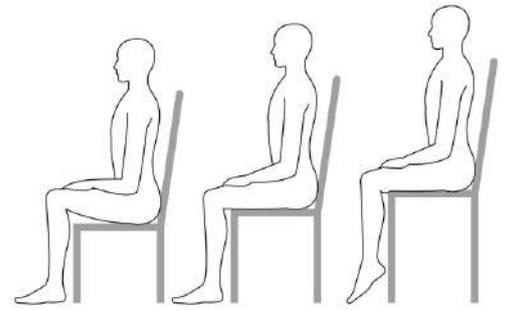


椅子は身体に触れる家具です。

洋服と同じようにサイズを気にして選ぶべきだけど、
そのような視点で椅子を選んでいる人はまだまだ少ないと感じています。
でも人はそれぞれ体型も座り心地の好みも違うはず。
サイズが合わないと座り心地も台無しに…
洋服を選ぶように椅子も選べたら良いですよね。

今回の展示では椅子のサイズ、特に座面の高さに焦点を当てて椅子をご紹介します。
日本の暮らしに合った3社のメーカーの低座ダイニングを揃えました。
一般的な椅子と比較していただき椅子も洋服と同じように、
自分の身体のサイズやお好みのフィット感で選んでみませんか。

あなたに合った椅子を探しにお越しください。



座り心地の中で足がつくかどうかは大切な要素。
最適な座面の高さを体感してください。



工業デザイナー、秋岡芳夫が床座に慣れ親しんだ日本人のためにデザインした低座椅子。
あぐらもかける広い座面、上半身の動きを妨げない末広がり肘掛けが特徴です。

モノ・モノ(東京)
秋岡芳夫が1970年に結成した生活デザイン運動のグループを原点とし、家具やクラフトの開発から、出版、木工ワークショップ、木造住宅の設計コーディネーターまで幅広く活動。



包み込まれるような背もたれにより、様々な姿勢で座ることができます。長時間の使用でも疲れにくいため、食後の団欒を楽しむのにぴったりのダイニングチェアです。

匠工芸(北海道)
北海道旭川の家具メーカー。カラマツ林に隣接し、大雪山脈を一望する丘の上にある工場職人の手仕事と機械加工の良さを組み合わせたものづくりに取り組んでいます。



5.6kgと軽量でソファ感覚で寛げる低めのチェア。座面は底着き感のない布バネ仕様。和室でも畳を傷めにくいよう床ずりを配したデザインにした。

日進木工(岐阜)
1946年飛騨高山で創立。一貫してモダンでシンプルデザインのものづくりを追求する。特に軽くて丈夫な椅子づくりを得意とする木製家具メーカーです。

ギャラリートーク

「身体と暮らしから家具を考える」

日時:1月24日(金) 16:00~
定員:15名程度
参加費:無料

建築士と家具屋の2つの目線を持つ店主が考えるダイニングのあり方やダイニングチェアの選び方を住宅や家具を仕事にする参加者の方と一緒に語り合います。

参加者全員に
モノ・モノオリジナル
文庫本を差し上げます。



菅村大全(モノ・モノ主宰)
1973年長崎県出身。カタログ雑誌の編集部を経て、フリーライターとして独立。2015年にモノ・モノの4代目代表に就任。



末永卓也(インテリア末永店主)
インテリア末永の3代目。ゼネコン、設計事務所勤務を経て2005年に家業に戻り、2010年から現職。家具だけでなく暮らし全般の提案を行う。

ワークショップ

期間中にワークショップを開催します。どちらも低座ダイニングに座って体験していただけます。



Melissa line Valentine calligraphy

日時:2月1日(土) 14:00~(約2時間)
定員:5名
費用:5,500円(道具代3,000円)



予約QR

※道具がある方は講習費のみ。紅茶、お菓子付
大切な方や、お友達へのプレゼントにカリグラフィ文字で気持ちをそっと添えてみませんか。今回はハート型のカードにホワイトインクで。そして、そこに植物のエンボス加工を施します。



「低座椅子で楽しむ茶道体験」

日時:2月8日(土)
11:00~、14:00~(約1時間)
定員:各回4名
費用:2,000円(抹茶・お菓子付)



予約QR

実は椅子でも楽しめる茶道。低座椅子に座っていただきながら歴史的なお話も交え、様々なお茶のスタイルのお話を致します。お話の後にはご自身でお茶を点て、召し上がっていただきます。

